

広島市の下痢症患者由来サルモネラの血清型別 (2013 年)

生 物 科 学 部

は じ め に

広島市内で発生した下痢症の状況を把握するため、当所では、分離された菌株について疫学的な解析を続けている。

2013 年に分離されたサルモネラ菌株(チフス菌を除く)の血清型別および薬剤感受性試験の結果について、その概要を報告する。

方 法

1 材料

2013 年に分離されたサルモネラ 19 株を供試した。

2 血清型別

市販のサルモネラ診断用免疫血清(デンカ生研)を用い、常法に従い血清型別を行った。

3 薬剤感受性試験

薬剤感受性試験は Sensi-Disc(BD)を用いた一濃度ディスク法で測定し、ABPC, SM, CP, TC, NA, KM の 6 薬剤について CLSI 法により実施した。

結 果

1 サルモネラの分離状況

過去 4 年間の分離株数を表 1 に示した。2010 年の 18 株から 2011 年は 24 株と増加, 2013 年は 12 株と減少したが, 2013 年は 19 株と再び増加した。

2 血清型別検出状況

血清型別検出状況を表 2 に示した。分離された 19 株は 14 種類の血清型であった。*S. Infantis* が 4 株 (21.1%) と最も多かった。

3 薬剤耐性

薬剤耐性パターンを表 3 に示した。SM, TC, AM, NA の 4 剤耐性が 1 株, SM, KM, TC と SM, TC, AM の 3 剤耐性が各 1 株, SM, TC の 2 剤耐性が 1 株認められた。4 剤耐性株は *S. Manhattan*, 3 剤耐性株は *S. Infantis*, *S. sp.*, 2 剤耐性株は *S. Infantis* であった。

謝 辞

この調査にご協力いただきました医療機関および保健所の関係各位に対し、深謝いたします。

表 1 年別サルモネラ分離状況

0 群	年別分離菌株数			
	2010	2011	2012	2013
04	6	5	4	3
07	3	7	4	9
08	1	4	3	4
09	7	8	1	2
016	1	0	0	0
0 UT	0	0	0	1
計	18	24	12	19

表 2 血清型別検出状況

血清型	分離菌株数
04 <i>S. Agona</i>	1
<i>S. Typhimurium</i>	1
<i>S. sp.</i>	1
07 <i>S. Infantis</i>	4
<i>S. Mbandaka</i>	1
<i>S. Montevideo</i>	2
<i>S. Thompson</i>	2
08 <i>S. Newport</i>	1
<i>S. Bardo</i>	1
<i>S. Manhattan</i>	1
<i>S. Narashino</i>	1
09 <i>S. Javiana</i>	1
<i>S. Enteritidis</i>	1
OUT <i>S. arizonae</i>	1
計	19

表 3 薬剤耐性パターン

耐性パターン	SM/TC/AM/NA	SM/KM/TC	SM/TC/AM	SM/TC	TC	SM	感受性	計
<i>S. Manhattan</i>	1							1
<i>S. Infantis</i>		1		1			2	4
<i>S. Enteritidis</i>						1		1
<i>S. Thompson</i>					1		1	2
<i>S. sp.</i>			1					1
その他							10	10